



カネヤの硬式テニスネットのこだわり

KANEYA®

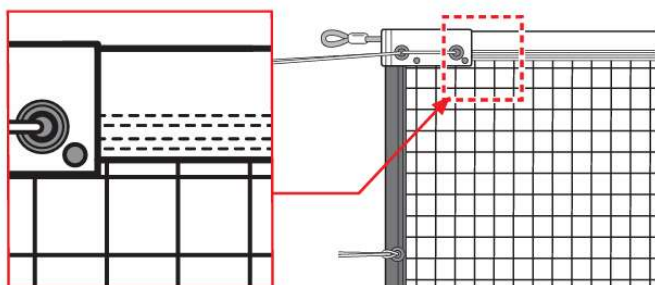
カネヤの硬式テニスネットは、施設管理者の様々なご要望に答えることのできる、品質とラインナップにこだわりを持った日本テニス協会推薦品です。

👍 こだわり①

強度と屋外耐久性

カネヤの硬式テニスネットは、ダメージが集中しやすい白帯部分の縫製がミシン4本縫い仕様となっており、耐久性に優れています。
また使用しているミシン糸は撥水+耐UV加工が施されており紫外線や雨による糸の劣化を軽減する効果があり、屋外使用にも最適です。

白帯部分はミシン4本縫い



撥水+耐UV加工ミシン糸を使用



(台湾製を除く)

👍 こだわり②

多彩なラインナップ

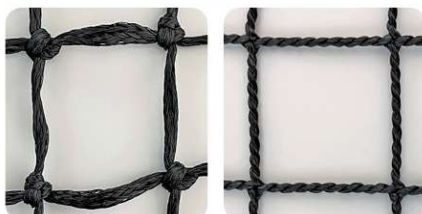
カネヤの硬式テニスネットは、様々な設置環境や使用頻度・ユーザーに対応すべく、多くの上部コードやネット仕様部材をラインナップしています。
定番で約20種類・オーダーメイドによっては100種類を超えるテニスネットからお選びいただく事ができます。

上部コード



金属製タイプや有名メーカーの高張力スーパー繊維を使用したタイプを揃えています。

ネット・形状



ブレードタイプやポリエチレンタイプ、ECOタイプなどを揃えており、上部ダブル仕様もお選びいただけます。

ネット周囲仕様



サイドポール入りやお求めやすいロープ仕上げなどをお選びいただけます。

👍 こだわり③

収納力・利便性

全ての商品にセンターストラップと収納袋が付属しています。

広口収納バッグ (取手付+広口で収納カンタン)



(台湾製は別仕様になります)

👍 こだわり④

アフターフォロー

自社工場でのネット修理や部品対応などご購入後のきめ細かいアフターフォローが可能です。

白帯交換



網地修理





★硬式テニスネット購入の流れ

STEP①～③で使用環境にあった硬式テニスネットをお選びください。

STEP①

上部コード(ロープタイプか金属タイプ)を選択してください。



ロープタイプ

- メリット
やわらかく扱いやすい
ささくれがおきず安全
- デメリット
使用頻度にかかわらず2年ごとの交換が必要

おすすめ(学校(中学・高校・大学等)、部活など)

- ・不特定多数(特に子供)がネットを張る可能性がある。
- ・使用終了ごとにネットを取りはずす。



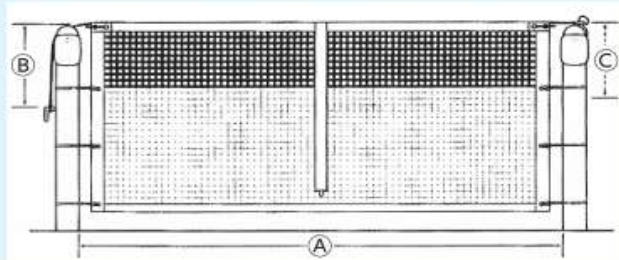
金属タイプ

- メリット
耐久性に優れる
お求めやすい価格
- デメリット
扱い方(ささくれによるケガやまきぐせ)に注意が必要

おすすめ(スポーツ施設・テニスクラブなど)

- ・決まった管理者がネットを張る。
- ・使用終了ごとにネットを取りはずさない。

〈お使いのテニス支柱が内蔵式タイプの場合〉



- ①買い替えの場合は現在ご利用のテニスネット上部コード長を測って下さい。
(13.2mの場合は5ページからお選びください)
- ②新規もしくは長さが確認できない場合は支柱間(内側から内側)の長さとしてテニス支柱本体の幅をご確認の上、支柱メーカーにお問い合わせ下さい。
- ③以上の確認が難しい場合は下記〈上部コード長の確認方法〉をお試しください。

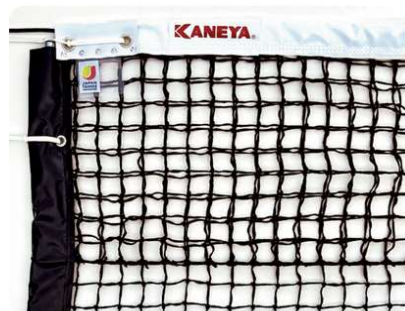
〈上部コード長の確認方法〉

- A 支柱間(支柱の内側間)
 +
 B フックの位置(支柱頂点にある場合は0)
 +
 C 引き込み長(メーカーにご確認下さい)
- } A+B+Cの長さを
 ご確認の上、
 お問い合わせ下さい。

上部コード長が13.2mの場合、5ページの「内蔵式支柱対応 全天候硬式テニスネット」からお選びください

STEP②

ネット・形状を選択してください。



ハイクラス タイプ

ブレードタイプ
国際大会でも使用されているクラス



スタンダード タイプ

上部ダブルタイプ
劣化しやすい上部1/3が二重構造



普及 タイプ

オールシングルタイプ
1枚ネット

STEP③

サイド(周囲)仕様を選択してください。



ハイクラス タイプ

サイドボール入り
ネットサイドの弓なりを防ぐ



スタンダード タイプ

テープ仕上げ
ネット周囲の補強



普及 タイプ

ロープ仕上げ
エコ